

ホスピスでの火災 - 西日本防災システム

20121207

広島県警は12月7日、広島市東区の「ホスピス・ナーシングホーム クリーム」の一室が焼ける火災があり、入所中の女性(85)が死亡した、と発表しました。ベッド周辺の焼け方が激しく、近くに火の気がないことから、県警は不審火とみて捜査しています。

広島東署や市東消防署によると、火災は5日午後6時半ごろ発生したようです。鉄筋3階建ての2階にある個室の天井や内壁など電動ベッド周辺約10平方メートルが焼けました。亡くなった女性は寝たきりだったといい、全身にやけどを負って6日午後6時45分ごろにお亡くなりになったようです。

同署や施設関係者によると、施設は終末期の高齢者らが過ごす場所として医療機関の2～3階部分に設置され、計24人が入居していました。女性は数年前に入ったようです。

ホスピス：ホスピスとは、主に末期癌患者に対して緩和治療や終末期医療を行う施設のことを言います。自らの意思と選択にもとづいて最後の時までを少しでも快適に生き、その結果として、安らかな尊厳に満ちた死を迎えたいと、自ら望む末期のがん患者をサポートするのがホスピスであり、終末期医療(ターミナルケア)です。

火災原因など、全く判っていない状況なのですが、なんとも 辛くて悲しくて、言いようのない胸の詰りを感じるのは私だけでしょうか。ホスピスで安らかな終焉を望んでおられたのに…………

原因の調査を待ちます。

安らかにお眠り下さい。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

